

# 映像力 POWER OF THE IMAGE

東日本大震災チャリティー上映会

6.11 [土] - 6.17 [金]

A~F すべて2時間プログラム 8:00PM - 10:00PM

入場料(1プログラム): 前売券 ¥500 / 当日券 ¥700

※この企画に賛同してくれた作家によって実現されたプログラムです。  
会場費等必要経費を除くすべての売上げを義援金として寄付します。

※ご予約・ご購入方法は裏面情報をご参照ください。

このたびの東日本大震災で、私たちにとってかつて確かにみえたはずの世界の様相や、多くのかけがえのないものが失われてしまいました。亡くなられた方たちのご冥福を祈るとともに、震災からの復興を心より願ってチャリティー上映会『映像力・Power of the image』seika-EIZO.festa 2011を開催します。

ここをゆさぶる映像表現には力があります。ここではそれを映像力・Power of the image (=映像表現の力・強度)とよんでみます。それらの力を生み出すのは作者の何ものかへの関心だけではなく、おそらく、それを目にみえる映像 (=イメージ) にしてみたいという作者自身の強い衝動のようにみえます。

ここで紹介する多くの作品の中にそのような衝動のざわめきが感じられます。そこには人知れず世界の片隅で日々起きているできごとへの関心や、忘れ去られようとしているものへの想い、心の中でいまだカタチにもならず名指すことさえできない想いや、世界のイメージ(光景)などへの関心が見られます。私たちはそのような表現に触れるとき、それらが作者の意識の中にすでにある何か確かなものによって生み出されるのではなく、むしろ名指すことさえできないものや出来事といった、不確かさへ向う作者の関心の強度こそがそれを支えていることに気づきます。

映像力 (=映像表現の力・強度) は他者にみられることによって共有され、さらにきらめくイメージの結晶 (=映像) として光を放ちます。ここで紹介する多彩な作品はそれぞれの映像力・Power of the image に満ちています。それらはわたしたちにとって確かにみえているかのような世界の光景にゆるやかにゆらぎをあたえ、あるいは鋭く亀裂を生じさせ、そしてさらなるイメージや世界の奥行きや広がりを見せつけてくれます。

フェスティバルディレクター 相内 啓司

# seika-EIZO .festa 2011

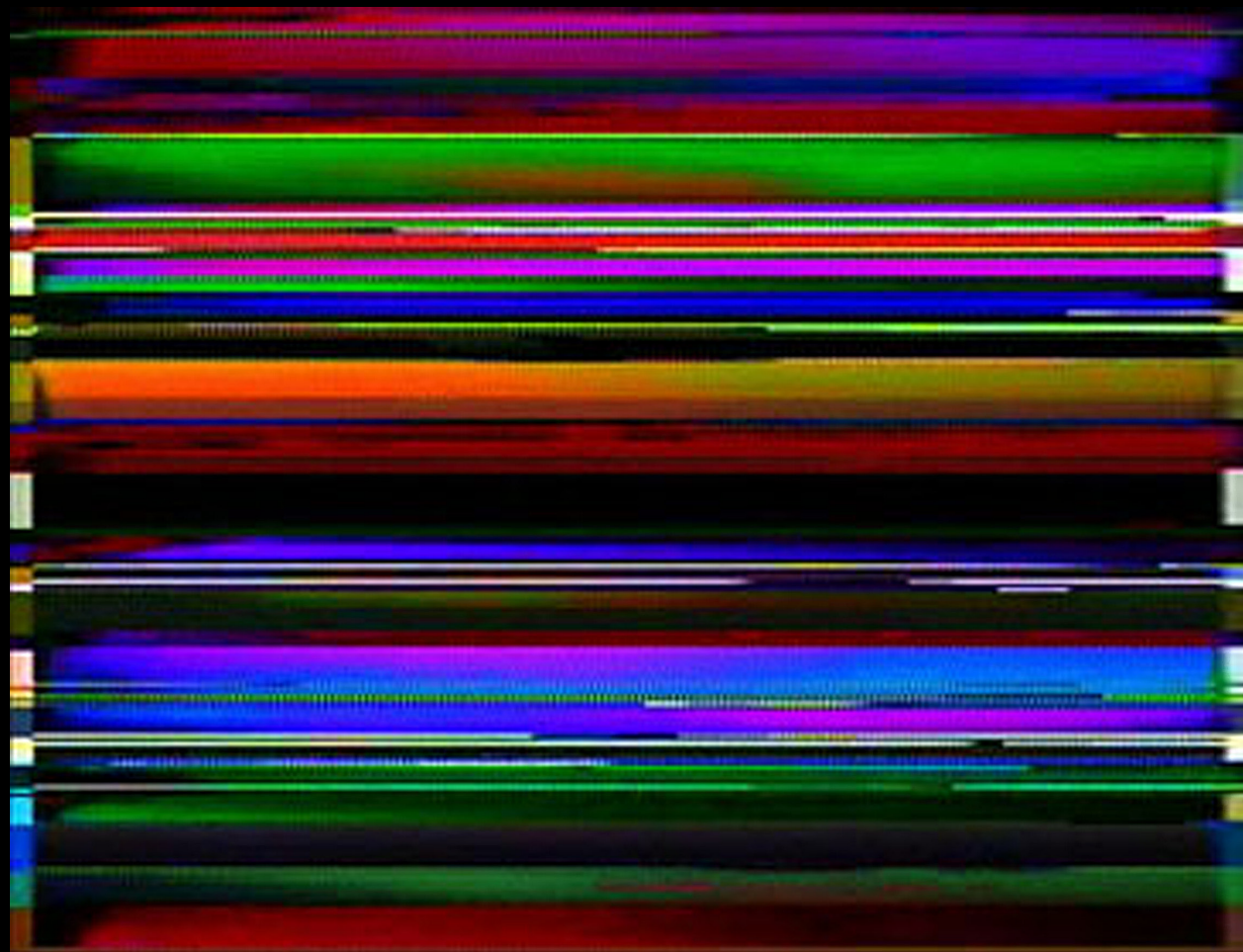


image from PHANTASM by Kawai Masayuki

お問い合わせ先  
〒606-0016 京都市左京区岩倉木野町137 京都精華大学 芸術学部 映像コース  
Tel / Fax: 075-702-5395 Email: eizou@kyoto-seika.ac.jp (担当:小澤/相内)

WEB: <http://www.kyoto-seika.ac.jp/eizo>

主催: seika-EIZO.festa 2011実行委員会 共催: 京都シネマ (如月社)

協力: ファインダーズ・ビューロー、VIDEOART CENTER Tokyo、KINO BALÁZS、

PEEPA

新視角  
Panoramic Eyes

Neuron of Artists  
project No.1

京都シネマ・カレッジウィークvol.16

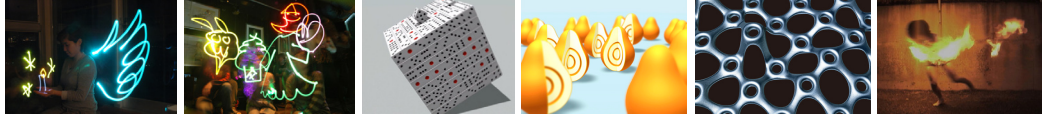
京都シネマ  
KYOTO CINEMA

## A アーティスト・ムービー #1

6.11 [土] 上映後作家トークあり

### 映像表現の可能性と広がり:先端としての映像と歴史的な作品

トーチカ+関根光才による光のアートパフォーマンス映像、3DCGが輝いていた2000年代初期に活躍した西光一、赤山仁、亀井克幸、平野砂峰旅らの記念碑的コラボ作品、現実と虚構を巡る櫻井篤史のまさに不可逆的な迷宮世界、石井陽之の過激かつ静かな作品、今年ヨーロッパで初公開された由良泰人の最新作、実験映画史に残る伊奈新祐の作品、相内啓司+落見子+平野砂峰旅による空としての世界と生命の記憶を巡るファンタジックなアニメーション、VIDEOART CENTER Tokyo代表の瀧健太郎による空間感覚を異化するインスタレーションの記録、アーティストでビデオアートのオルガナイザー河合政之のカメラを使わない過激なライブビデオアートの記録作品。



トーチカ+関根 光才    トーチカ    赤山 仁+平野 砂峰旅    西 光一+赤山 仁+亀井 克幸    石井 陽之  
櫻井 篤史    由良 泰人    伊奈 新祐    相内 啓司    瀧 健太郎    河合 政之

## B アーティスト・ムービー #2

6.12 [日] 上映後作家トークあり

### スクリーンに現前する都市の記憶とイメージとしての身体性

田中廣太郎の屋下がりの都市空間を異化する映像、井上信太+新視角(林ケイタ+呉鴻+谷口正博+栄暁佳+秋山怜)による上海でのパフォーマンスの記録、MM Lab.(前田真二郎+真下武久)がGoogle検索システムをクリティカルにとらえた作品、櫻井篤史の移動する主観ショットが醸し出す迷宮的世界像、相内啓司が存在とイメージの現前性をテーマにした詩的映像、下在奎の釜山タワーを中心とする都市の風景と視線の位置関係を巡る作品、伊奈新祐のスリリングに再イメージ化されるモニター・ジュ作品、瀧健太郎のボックスの中で抑圧されて断片化された身体性がうごめく作品、ファウンドフッテージの第一人者末岡一郎による記録かつ旅行映画の再発見作品。



田中 廣太郎    井上 信太+新視角    MM lab.    櫻井 篤史    相内 啓司  
下 在奎    伊奈 新祐    瀧 健太郎    末岡 一郎

## C 学生作品の現在とその後

6.13 [月], 6.17 [金] 上映後作家トークあり

公募による京都精華大学の学部生・大学院生・留学生・卒業生の作品。アニメーション、ショートムービー、実験映画など、初めての映像作品から集大成としての卒業制作まで。また、卒業後にディレクターとして制作された商業映像、映像作家として活躍するOBの近作も。



山中 美奈代    小黒 章平    田中 美菜子    mulo    横山 有衣    矢木 奈津美  
田中 活彦    新田 翔子    寔大    西堀 博貴    岡本 大祐    小澤 貴弘  
秋山 優    徳永 達    ザンカク    益 符宇    平野 知映

## D アート・アニメーション

6.14 [火] 上映後作家トークあり

### アートとしてのアニメーションを追究する作家たち

オスカー・フィッシングにインスパイアされた田中美帆による映像と音のシンクロナイズするハッピーなアニメーション、二村諒のミニマムな要素で展開される不思議でモダンな作品、倉田愛実の緻密で絵画的な表現と音楽が戯れるミュージック・アニメーション、米正万也の世界を舞台にした特異な抽象アニメーション3作品、水本博之によるちょっと危険かつ優しさあふれる手作りパペットアニメーション、Jerome Boulbesの繊細な感性と完璧なテクニックによって描かれる弱いものたちへの愛に満ちた3DCGアニメーション、『緑玉紳士』で知られる気鋭のアニメーション作家栗田安朗の学生時代のパペットアニメーション、Cao Thi HaのノスタルジックなミュージックPV。



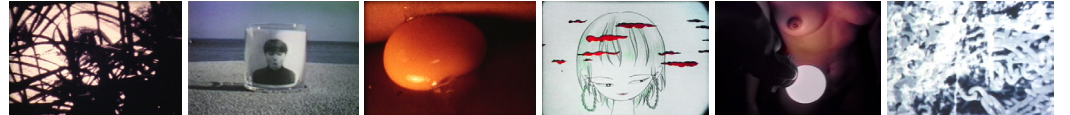
田中 美帆    二村 諒    倉田 愛実    米正 万也    米正 万也    米正 万也  
水本 博之    Jerome Boulbes    Jerome Boulbes    栗田 安朗    Cao Thi Ha

## E 特別プログラム: ヴォワイアン・シネマテークの光跡

6.15 [水] 上映後作家トークあり

### 20世紀末を疾風のように駆け抜けた映像作家集団 VOYANT CINEMATHEQUE

「多くの理由ある錯乱を通じて、知的認識力を排除した処からくる真の眼」を意味する「ヴォワイアン」という名前のシネマテークがあった。彼らは、関西を中心に、個人映画・実験映画の制作・上映を最も精力的に継続させた集団のひとつ。今や伝説化しつつある膨大な作品群の中からその一部を紹介。



平田 征志    西岡 雪菜    青井 克巳    山元 るりこ    吉本 陽一    小池 照男

## F アーティスト・ムービー #3

6.16 [木] 上映後作家トークあり

### 変貌する身体性のイメージと変質する世界像

磯崎愛生は情報メディア社会の中で戯れるうちに現実感を失っていく女性とそれを見る観客の関係を作品化した。Chris Rudsの作品は近未来社会の中で身体性がどのような意味を持つのかを問う短編映画。tanjc(陳維錚)の作品は日本の死をめぐる儀式と家族の誕生をとらえたドキュメンタリー映画。寺嶋真里の耽美的な世界がファンタジックで迷宮的なストーリー展開の中で徐々に結晶化する長編作品。



磯崎 愛生    Chris Ruds    tanjc    tanjc    寺嶋 真里

京都シネマ・カレッジウィーク vol.16

# 京都シネマ

KYOTO CINEMA

〒600-8411  
京都市下京区烏丸通四条下ル  
水銀屋町620  
COCON烏丸3F

Tel:075-353-4723  
http://kyotocinema.jp

・市営地下鉄烏丸線「四条駅」2番出口すぐ  
・阪急電鉄京都線「烏丸駅」23番出口すぐ

- ◎当日券 / ¥700  
※立見席、補助席、あるいは満席のためご購入いただけない場合がございます。ご了承ください。
- ◎前売券 / ¥500  
※京都精華大学映像準備室・京都シネマにて発売中  
※ご来場日当日午後7時より入場整理券をお配りします。
- ◎鑑賞予約メール / seika.eizo@gmail.com  
※上記アドレス宛に、氏名・鑑賞希望日をメールでご指定ください。  
※ご来場日当日午後7時より入場整理券をお配りしますので、その際に前売料金にてご清算ください。
- ・前売・メール予約はともに、6月10日[金]午後5時受付終了。
- ・開場は午後7時40分(予定)です。ご入場は整理番号順で、場内は自由席です。前売券をお持ちのお客様は必ず整理番号付き入場券とお引き換えください。